



宗教の枠超え祈り

岡山で人道援助NGO

県内の宗教関係者らでつくる「人道援助宗教NGOネットワーク」(RNN)は、岡山市北区尾上の黒住教本部で、東日本大震災の犠牲者の慰霊祭を営み、宗教の枠を超えて祈りをささげた。

天台宗、金光教、立

正佼成会、真言宗、黒住教の関係者ら約80人が出席。震災発生時刻の午後2時46分に全員で黙とうし、RNNの永宗幸信委員長(倉敷市・本性院住職)が「今も苦しむ被災者の気持ちに寄り添うため、祈りを合わせて被災地に

届けよう」とあいさつした。

引き続き、それぞれのスタイルで1時間以上読経や祝詞を上げた。最後に、黒住宗道事務局長(黒住教副教主)が「早期の復興を願う。失われた命を無駄にせず今後の天災に備えなければならぬ」と述べた。

(小川正貴)